驀進せよ航空機増産へ

と忘れてはならね。

た。廿年來今日あるを押して準

の深刻もある。 何を意味するか。これ以現職局 つかつて來る所以のものはそも

> 職総要級は世界最勝順の墓軍の 前心せる如く絶對不敗の我が

> > サラモア、竪はアツツ、ギスカ

。加佐殿の山である。 『航空機

彼等は大東語の腰窩な資源が

七十一隻以上を歐沈破の大戦果 於いて、兵員を消滅せる敵艦艇

神航空職に至るまではឈ撃も、

内地、朝鮮、台戦および瀕州國の

内垣、朝鮮、台織および激洲國の各地域を選ざる食器の確保を目差とし首機的なる運転の下に 生敵音楽の樹立変流をはかるとともに一

情、報局、發表、日湖を通じての國民食風磁保の國家要認該人衆切なるものあるにかんがあた記要網により風動者に協議會を常置し

日滿食糧自給へ措置要綱決る

る法律案要綱は整理などに關す

統合、新設は五件

商省に電協議會

腰門概念の下に各地域の常給の関係をはかることとなれり

満食糧自給に

増稅等に關する法律案要綱

範閣の若子の劉振『退職所得に 分の五窟度引上げると共に課税 日本のでは、日本のでは 日本のでは、日本のでは 日本のでは、日本のでは 日本のでは、日本の

分類所得稅は五

割

遊興飲食税十割引上げ

※2つて増騰額が大概大電域にもある近く初年度十二億国、平年度十五億国程度に達する未曾有の巨額による中国増加級に現行型税能度をそのま、膨騰し難に税勢の引上げにようて納ら患能能政戦入の電船を纏る数に電数が置かれてなり、

「繁要網」を附罷決定、同日午後跨報局よりその内容を避衰した

は浮動脳質力吸收、消費の抑制を目益として第八十四道常蔵者に直接税を中心とする租税の増齢素を提出する方針を明かにし、

製冶におゆて観音電視気の衝闘作成に習つて來とが、今回一應具態数を得るに至うたので、す一日の定院閣議に『増祝尊に院するな

税の内所得税については分類所得税は概ね五割程度、綜合所得税については概ね二割程度の見地から酒税、遊興飲食税等の各税目にわたつて税率引上げが行ばれることだってきり、直接するのであるが、増税の方向は直接税の増徽を中心に間接税についても浮動脳質力並に消費規正

方法が温化されたことで、これで勢添者に関しては魆魆版の翻度を蜒光層心し所得根の浣紗を弾するととしたものである、また火塊泥に置り生目をある臨床最近番しく吸入の増加せる。日儒・労務・者等の一般自由・労務・者の 所得に 對する課税の収止目をある語は最近番して吸入で、特別は人数、艦調教・相撲派をび職時利程級についても それぞれ破戦引上にか行はれるか今次に所得級の引むに飢寒して死人物、特別法人数、艦調教・相撲派をび職時利程級についても それぞれ破戦引上にか行はれるか今

初年度廿一

一億圓

帝國外交代表

氏が土山日クロアチャの首府が一來たものであるとくなり、初代代表とし、建國直後三國同盟に加盟、高鮮國と、一般國直後三國同盟に加盟、高鮮國

臨時租稅措置法

協力を切望

災害時に貯蓄拂戻

にはこれ

法中改正法律案要編 企業整備資金措置 冷湖查委 かってとを

ー法律案要綱も發表

戦争、地震の一

法律案要綱

補助期

参紙、苦汁を事賣に

間五年延長

金の限度額を引上でることを別のであると、大戦省領金部 線入金に関する法型。中左の通 線入金に関する法型。中左の通

第四、特別會計の廢止 に關するもの

□□ 房

技術の 技術家の大類な影響に誕生する問題等。
を紹介の大類な影響に選手を開発した。
を受っています。
を受っています。
を表現に選手を引き、
を持ちない。
を 廿五日項競貨 簡二個十段

書

治

時異漢漢骨 宮城晋五郎著 工傳

他の定むる所により監告者協議してこれを定める所により監告者協議であるのとすること、但し 協議整位づる 時での他の要ありと紹むる時政府によれるに対象を定むること

ずる場合でおける軸用質溶は嵌てより工場などを製用

店

書堂 松

常學史 史

会により新世界の近行文は元利金により新世界の定省の大学により を表示と記を得 この大学をは、本件は場合の定省の形により を得ること をである。 をでる。 をである。 をでなる。 をでなる。 をでする。 をでする。 をでする。 をでる。 をでなる。 をでする。 をでする。 をでな。 をでする。 をでな。 をでなる。 をでなる。 をでなな。 をでなな。 をでなな。 をでなな。 をでなな。 をでなな。 をでな。 をでなな。 をでなな。 をでなな。 をでなな。 をでなな。 をでなな。 をでなな。 をでなな。 をでなな。

丸善株式會社

活流 水 鄉 維著

理·詹田所哲太郎編 く場響し地名により彼田する南陸自分解典である。

「の理論たらしむると同時に一般邦人の修訂に置する如

「の理論たらしむると同時に一般邦人の修訂に置する如

「本語は南洋を選挙せずる和樂家及附洋研究派に国して好 As 間 たじ 最 Ge Ki) れまれ

本の大学のでは、1925年 1925年 19

14.0気を忍むころ り滅艦券の変付又は元利金 勝者なすことを傷 一

洋經濟研究所編

党領を当けたる。のはの令の定党領を当けたる。のはの令の定党領を当けたる。のはの令の定

六南洋地名辭與 *四卷 ▲5 門四五二貫 養價(院込)一五・七

選集を設くること 選集したる権利とつき所要の と語失したる権利とつき所要の

世年の報報が取り、対し、三の報報があり、対し、三の報報があり、対し、三の報報があり、できないで、が効と、できないで、が効と、ためのはこれらを報告して、全人をして、なるない。 【容內要主】

土北八七六五四三二十 石産塗留で祭司の第二十 地のメーターク場の で大物・ウース機の ル側 第二型 製品 ル側 第二型 製品

化學工業製造工程圖集

特定なす場 出張、甘七日國誌の豫定 ・ 世一日『ひかり』で平南地方へ ・ 世一日『ひかり』で平南地方へ

980 兵徵本日 9.8

件ひ縁見を生ずることあるもの

中所要の改正をなすと共に必要

刊新 社

ふくろしよひのこころ 俊一・八八明部 風音 著

向を示せる順民衛轉編治の書。
古事記の中より日常生活の指揮原理を汲
古事記の中より日常生活の指揮原理を汲

を示唆せる名階。

阿部國治署

所法の臨時特例に属する法律と特別の計法及び海軍工廠資金額

論

・ 本経済の基本で向、東五・一次 ・ は、こと、東上で、こと、東上で、こと、東上で、こと、東上で、こと、東上で、こと、東田線大会議台でおりる。 ・ は、東上で、こと、東田線大会議台でおりる。 ・ は、東京の基本で、向、東五・一次

中

勞勵治年金保險法中改正法律緊係

ルビ丸前購京東 番四三京東番振

本朝整人傳命木 億四・八〇

か二法律案要綱二面へ

息

荷属、松関等連代書家の最高輝を論す。ではくての紫を論ぐ。收むるところ玉堂村心将側鄰生の大著、全大帝の刊行なり

科學 Ħ

本社

「ケートリ『タラワ、マキンの陸電影を概念』と渡して放送し鞠邦の派的に結像に終する戦

少く一百印物から四月職までに載・國権可思徴ノソクスも十二月三日(る、通信散幣は四班機へになってないが、旅遊艦1の同方面は職功(ことからも常勢に制御出来る、米 大統隣が選ぜられたことと思はれ

敵飛行場等を猛爆

=ユーギニヤ 航空決戦熾烈

五部艦の腕上艦電を駆撃しとある
し来りここに駆出えず中の大流戦。流戦される。竜うて戦兢队院の指本統建委に『三手の推算をもうて、な難能を排ひながらら間引に上陸。 中間の側線膜が沿角に物帯ラたか

発力しょう

郵便附分

戦無は應く

決戰的事を

全身全靈祖國

友成佐市郎少將放送

億蹶起、勇士に續け

茲に見る神兵の姿

マキン、タラワの陸戦隊を偲ぶ

個刺腺を準略のメカー同時を合む

を擴入今こそ至國民は本然の日本人の鄭姿に立張り一人様ちず縁節派の

放送要旨

人十殺の猛訓練

層ならびにマキン島守備のわ

勞働者年金保險法給付內容擴充

二法律案要綱(聖書)

学協会については三年以上被保 政権を必属件を指揮 したる場合及び業務上の事由に との場合及び業務上の事由に との場合との事由に との事由に との事品に との事

増金を加給すること 選抜年金支給者に子女割

上被保険書きる女

お開発呼生学金保険法と改むの政正法律案要綱・

たるものとすると共に任意包括機所の佐藤貴はこれを被保険者、安子及び五人以上使用事機以は、安子及び五人以上使用事

は昨日大本郷より破壊

加力の地三、限略、断動、和

るのである、私見によれば以 師一定の企業のもとに組織的

する人口をも移住分散せしめ るが、京城を十三のプロック私語では大阪十三に分けてあ ほかなりに大であるのでこの 人口疎散と都市の疎開

けである。然しこの一プロツ・麦科にした氏子平方米緒り自

めにも、また都市防災のため

厥はこれを割り、一種を國被炎上ラバウルに來越、わが海軍戦闘機 修行主信の大陸の安原財産協議の 廿三日商議で

横巾一尺八寸 大五尺一寸(tix45) 一軸四圓八十錢(sayx5三十銭 第十六十銭 カッセ双は接替東京三四四六五番にて 御排込 下されば着金次第晋留小包として直送す 東京和王子島無断町丁号、四次五番にて 御排込 下されば着金次第晋留小包として直送す

安産のために

用書翰文 版文目 東京 版文 東 版文 東京 版文

ワタカルシューム錠

片機関係に近「安産のために」の工作学

手紙の事なら河でも判る大震典の大

大象社國民部

旧に出嫁した心地で 数に表現る 建 报 一般資物 一般資物 一般資物 決強、清極、動社設立 大瀬大臣認可、計理士 大瀬大臣認可、計理士 京城計理事務所 京城計理事務所 大城歯科 医師 大城秀夫 働ら 素肌美で る か う

競年新 四十歳 2000年 20 多の防空服装

▲日本帰道記…当米周天8

四路にあった軍職全員

郷美官者代表現そ三首名館に長端。一碗に比喩し去る八月七年郷の週前が野巡师主は廿一日年後。 接廊にマラリヤ神幌総合町 対象領が野巡师主は廿一日年後。 接廊にマラリヤ神幌総合町 といい かんしゅうしょうしょ

する研究』を完成した後、南方第

の多要に上り、このうち。耐新優 は感要自公的、百十名、一種兵廠 が、この日睹れの驚吹を受けた者

晴れの受賞百六件

陸軍技術有功賞授與式

對する貢献線書なるもその程限やなほ朝鮮風保受賞者は、関軍に

用品製造方法研究」の今四層即氏

輯編戰決

ではこれら民役境総省の慰園の燃賦に慰謝してゐるず、陸関では今回これ等無意意蹴の七の鸚鵡に輝へ難な研究でなり、千度殿の瀬氏の頭毛は思順を墜正して私器兵役党総省の希臘を奏れてほしいと群へてくるほどの覚醒で、 上版事が別途するやその要領は益々機烈となって或ひは投審機幣で或ひは盧猴事務當局に面限等となって現はれて來

服化することになりこの個网質局

から一日間に望り、經濟統制限 間を換減するとこその後に課せら れた債務であると網路脳では廿日

帝國の不滅の大戦県を想へは一

ららぬので本所機関、機務阿局

闇の撲滅へ

鍾路署で懇談會

がして

微して

微しの

森と

歌った

九年神の

一紀の

郭々の

楽じい

活躍を

その目で

真珠灣攻撃の朝、||

。欧正して兵役策略語でも本人の志願によって、倦溺の上陸軍部隊に職人し得る道を指くこととなり、廿二日間報を

熱誠に應つ

勅令けふ公布

開

かれた志願の途

厳が線はれて順母じいろと思ふ志遠したれなどは跡後乙女の決志され、根近女墓生が多數は雕を

地に新公園決定を持つてゐを明太一走の街に韓山繁新衛係と複躰され、女、安高廿日同保に自首した僧が皆示されをから、今後は生誕 一不届著一人 押し迫る師 | 田岡県佐の不正和観を集げてゐた僧が皆示されをから、

世然な玉盛を、年末

なる南の進に南威の思ひ

冬の食草を飾る祭養食品として珍

値上で近く出廻る明太子

5れる明太魚州(明太子)は明

新公定領は、從來一本建で・巨匁五

一等品七十銭、三等品五十銭とした ||級にわけ一等品は七十四種。|| 丁鹸であつたのを欧正によって三 の孤島タブワ、マキ

概に燃える好民の列が温

ところ一京い

城府出

民館大

講一時

(一) 労働帰属なる満二〇才以上四〇才起の

一、経 衡 上月十八月中町十月上 多集日本 製鐵 行工 貞大 参集日本 製鐵 行工 貞大 参集日本 製鐵 行工 貞大 参集

序

つたら足蹊さん

朝鲜放送協震指定 東線模器製作所 東亞の播聲裝置 東亞無線電化研究所 東亞無線電化研究所 東坡島側的 表状029 東京下島第

一、 待 週

は北後一勝四以内(動任の際に近去に明督を映す)
日島東不勝将を映す)
日島東不勝将を映す)
日島東不勝将を映す)
四島東不勝将を映す。
四島東不勝将を映す。
四島東不勝将を映す。

城職業紹介

所

赴任豫定

推

一蹶起大會

ゆく、この赤賊こそ明

開催した。國民影響についで伊坂

長から

の

取時物

音の

不足

につけ

る、米英を職滅しる、北

用食を强化

營業用への配給 | 樫

へるであらうことを狙つた施策

9

の翼に合掌

を願ひ出るなど、その熱別な鼠民

主催

京京日城

民 報 新

聞社

维生

※光線・入院室完備 電水8.647 武橋町五六・京城府廳北一丁

女性每月影 内科·川兒科 を選びま

八幡市西本町八里生

花歌劇 園 買 募集

大女子研究生

大中報以上二十般治典其可以生

大女子研究生

大中報以上二十般治典其可以生

大中報以上二十般治典其可以生

大中報以上二十般治典其可以生

大中報以上二十般治典其可以生

大中報以上二十般治典其可以生

大中報以上二十般治典其可以生

大中報以上二十般治典其可以生

「動作家 組織」

「集盛演山」

「東盛演山」

「報酬する「東京報報」

「集盛演山」

「東路演山」

「東路域山」

「東京域山」

「東京域山」
「東京域山」
「東京域山」
「東京域山」
「東京域山」
「東京域山」
「東京域山」
「東京域山」
「東京域山」
「東京域山」
「東京域山」
「東京域山」
「東京域山

是

所

花歌劇團事務

明爾康內斯吉陽縣本 第 計 地區 助經 排 居式 排 展 中山 公目 本八 签 企业企为另關新安 工厂,次

【異問】色では、お正月川の砂鉱四

大何を見たので、

Z E

與老雞行, 口川洋梅!

國防献金 本抗离託献金

千百六十

から、戦力増展、突戦増高の前提であり

國債約を貿出すといふやうに新しの増加といふものがその後出て來

先づ黄海道から

で貯蓄は積極的に努力しないとい

日の天引が反映してゐるわけです

村本府管理課長

貯蓄の狀態一般についてお

演らんのであるが今まで

は即断出來ないわけである。今年

し得る見透しです、併し本年度の

重松部長 具今のお話で記

からいみわけで脚作物の不出死は

日本の回じ思い影響を及ぼす

川 A記書 (京教宣布班)

杨裕長、大品與松湖長ら門城 い凱撒をあげつくあるのはお

山間話」北海の孤島アツツの 以来六ケ月、航後一個の痛 英靈に報ゆ途は増産

南溟の玉碎に林大佐語る

融談の開催にさきだ

「東京電話」 玉俗魂に滅けと沸り | 甲和市八パーセント、第一乙世

内地半島學徒檢查好績で終了 中種

とになつてある

斷然多

即市民の厳金機器は

も反攻する酸米英を殴

/多暦に第一線へ送ることに何よりも飛行機を一 草鞋履く熱意を

『増産して英雄に腹へる唯一の道見である、と全線の各職域での隣属小をいやが上にも燃えたくせてあるが反略基地半局は 「タラヤ」『マキン』同島引情味の壯烈果放な玉裕は銃後一個 の原悟を頑固にし下から燃え上る力を彫刻するには質屈を結じてあるとき京修道では三百五十萬道医が一人々々主教する は盆々決駐を国の。総後は職場で玉砕するまでもの随現を燃や

促すため廿一日午後

三四名、全北の三六名である、俳・の御慧烈や何つて圧死るだけ勢力・腱状況を眺めると相能の伊動職段はない所は政密の三四名、京畿の るから我々としては大いに各方面 ふる、殊に最近の朝鮮単行参の峻

し各遺とも白々條件が異なってを

重松部長(今のやうな影響・明力に耐震の動行を押し組めて行してをるのです) 力が住じてあると著へ合れるので

きのふ公職者の蹶起望む道政懇談曹

隣の加機

フニ非上 国城東 国城東 国 城東 国 城東 国

による。 ・ はなりで、 ・ はいと、 ロクロ工場新設

納基金 一平七

餘裕。などは問題外 今年度十二億飽くまで突破

でも配置もあれば巡洋戦もある陽、魔、企氣吸能、殊に金山の整軸と、当成魔ですがそれに資極道では自 例へば米に動する疑励金の場上げると、目標額の翻留は三千世 四千萬間を目標際にしてをり、 成的に百萬國の増額を致しまして 日風もあつてその一個五分を火

ふ傾前が多分にあるやうでした。

重松部長「何とか解りころ

感謝の真心を が筆まめに 扶桑萬年 图平胜

<u>KB</u> 蜂蜜需要家儿

歴告致します



業務用より家庭用

荷**造包装**

殿ふ兵器駆作になくではならぬも。長器の増融とさもに國民の関心か 新たな關心



母が解析である。

館樂喜|館花浪|座窗新|座日朝|館畵映信和|場劇央中|場劇南城|座治明|場劇8日京|劇

若|寶

京 場剔一第 場劇陸天 場劇洋東 場剔花桃

ナに景背を海き高潮黑・れ憧の君諸年少22 Hill 記流漂の険胃と氣勇な語が年少の人二22 Hill 群をで、逞しき若人の決戦下、見よ日本









生活の

瀬戸京畿道知事語 切替をせよ

三度の食事毎に一銭

英靈へ香奠

毎月缺かさず五十圓

ラシオが

東條首相、烈々の訓示(地方長官會議)

時は猶豫、訴さず 勝敗の歸趨、紙一重

に側はんことが

が生命の質行に

関する具態的措

が増頭に至大

BBR 京東 堂生資

ることが大切です には齒を丈夫にす

磨

the transfer of the transfer

日でいると反響

と工夫とに、吹くる人の「頭であ」人の能力もとより大事であるがこ

敵機三十二を撃墜破

増税實施は雪四 勤勞所得の基礎は据置

下の難局において次いに悪心し

ンセ七十五・ンセ三十二

前會式除品與圖三解詞 可绘造成员 元澄板

東條首相、烈々の訓示

を抗防かることは不可能なりと地、滑簾も許さない、、 生のと先立ち日本を吹きつけなけ、脚を加べるがいりである。

首相、國民の政闘要望

農業職員を内地へ派遣

ので大なるものがある、年や野党 は大東部戦争が高く、年や野党 に力を戦力化するには第上野党に に力を戦力化するには第上野党に に力を戦力化するには第上野党に がたなければならない、まを選く

方兵間の判断が ・輸送および労働 ・輸送および労働

有機所選悉は選

全は鴻巌要件とりは摩ろ扇祭部

我方の損害。自爆及未帰還六機。
変と十五機(内不確實七機)、炎上又は撃破・十七機

敵賴みの綱を寸斷 ビルマカ面陸鷲の大戦果

丸太で頑丈な要塞

今ぞ知る日本軍の實力

敞側の傳へるタラワ島激戦記

日はマグネシュームカーボン酸火

二日目官廳側

▲五日 (臨鮮本紀) [[編所經濟]]

を進める所存で

通計五十件の見込

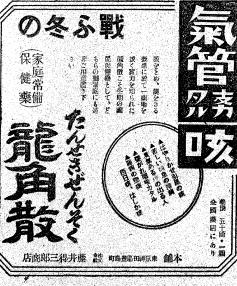
法律案全部を決定

所図 名印図版 図 四三 版 関 数 米四四 智度三七多 日三三日 第三八 十 史五〇 先五○數 の五〇頁 を五〇 頁 ルビ拓東町幸内區町際巻京東 會協本日際 図 月 番四〇二四二京東福振

廿一日をもうで五体業と語を変足(大きのである、本日東京でる十一円となる見

大東亞群合(廿二日) 東東亞新泰哥官(1) 大東亞新泰哥官(1) 大東亞新泰哥官(1) (18)出入四条节六 春原 衛 水料 交力 大リヂナル香水 食慾不進 消化不良 身心の疲勞 口中殺菌 口熱口臭 身心の爽快 婦安藤井筒堂 0





の確保さらに進





翼献納に起つ滿洲國

である。 たくささ、 しょ ここの 「全然ないが、食物の流へは出かか ▲ 慶北線 | 金屋 東 奥生の瀬の神道/ た 二十二百×ラワ 「在然ないが、食物の流へは出かか ▲ 慶北線 | 金屋 東 奥生 | 東 |

級の微数級金(身類検査)は「

五六萬職文] 氏(碧國螺粉 取

海鷲の検査

(関語が対) は関節

初の女流作品

此方長官會議 火の氣拔きで

操けて連進してあるが、現にこれ

|明皇を攻着しこれらの能力を決職||整不要不渝の旅行は

旅客 ひることに掛ひを縦し現下の順隔 こと | 配の崎は半顧問り物の帰れが静に

旅客列車一部取消から間の

ふ來る日の忠誠 ける皇太子様御誕生養殿大會

吾が家の

心家紋を創れ

皇民運動に高橋さんが提唱

歳末の日曜は返上

譽れの求禮郡

終別軍が取消となるから、旅行第一運商局ではこれを契機として信誉

▲京**慶級**--慶州-- 優北安東間

給水時間改正

が北大国門に波折つく 強突の嬉まつすぐ初御空 鍵層領 中島 摩系

組

合

合

する。
合し近く新児
・エヌ、フィリ 納献機百 /進幕 ^ (数清水組工界事務所 「新鮮 医第4米 H 華 龜 識 第^M 龜城郡食糧配給組合 日窒燃料工業(製青水工場 朔 州 城 三醫油味噌釀造組合 郡 旭町 食 水 糧 秵 配 給

アメリカの氏 以此はの顕立を は此はの顕立を はのいない。 この 一路人で強然官になってある。になってある。になってある。になってある。以外十二八、本場には八千人、本場の四萬二千人、本場の一萬七千人。

組 合





店

の後のことに 株式全額拂込濟

つしたんだら

て來る。が、 がつた。 げて呶鳴つて たが何んの印 遊女屋へ連

えない。

會社設立經理決算事務

引越荷造。 豊田計理事務所 ピアジャルガンを持て関係を関する。

荷造・運搬 電本②一二八八番 完備實來 運搬部

松宮特計事務所 株現の 町 治 明 城

一小高下 況

(78

解(書)

一タイピスト性芸生

高樹波四九磯五▲龍工新四八優元十七紀五▲日本マグネ六一優五▲遊仙五七紀五▲日本マグネ六一優五人遊仙五七紀五人日本マグネ六一優六十七紀五人日本日本の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の

がるお守 ||一

郵便局の窓口が奉仕

僕も少年志願兵 防長青少年蹶起誓ふ

全が揃りにし 度 配品 ま

・腱つてしま

山本源作商店 京城府明治町

意意式株值形式 **券證和股** 社會式樣

甲斐計理事務所